



NANDA-I 看護診断

定義と分類 2018-2020 原書第 11 版

原書編：T. ヘザー・ハードマン・上鶴重美，訳：上鶴重美／医学書院
定価：本体 3000 円＋税／TEL：03-3817-5657

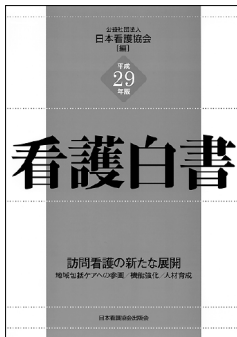
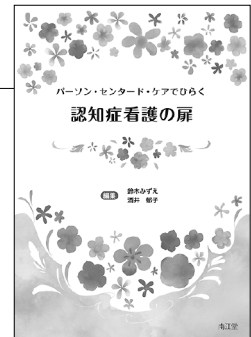
●NANDA インターナショナルで承認された看護診断を収めたハンドブック。17 の新しい看護診断を追加，72 の看護診断が改訂されたほか，各診断に「ハイリスク群」「関連する状態」が新設され，より診断の精度が高まる形に。臨床推論や NANDA-I 看護診断に関するよくある質問と回答もさらに充実。看護診断の学習に，そして臨床で役立つナースの必携書。

パーソン・センタード・ケアでひろく 認知症看護の扉

編：鈴木みづえ・酒井郁子／南江堂

定価：本体 3800 円＋税／TEL：03-3811-7239

●認知症看護に欠かせない“パーソン・センタード・ケア”の概念のもと，認知症の人の視点に立ち，認知症をもって生きる人を理解したうえでの具体的なケアの方法論と展開法を網羅的に解説。看護職が地域包括ケア体制下で認知症の人の予防から看取りまでを支えるキーパーソンとして，ケアの実践とケアを連携する技を身につけるための 1 冊。



平成 29 年版 看護白書

訪問看護の新たな展開

編：日本看護協会／日本看護協会出版会

定価：本体 3200 円＋税／TEL：0436-23-3271

●地域包括ケアの推進により，訪問看護師は地域ケアの中核となり，在宅で質の高いケアを実践すること，病院看護師も地域に出て連携することが期待されている。本書は「訪問看護の新たな展開」をテーマに地域包括ケアへの参画，機能強化，人材育成の側面から全世代型地域包括ケアの方向性を解説し，生活と医療をつなぐ看護の新たな取り組みを紹介している。

がんと命の道しるべ

余命宣告の向こう側

著：新城拓也／日本評論社

定価：本体 1700 円＋税／TEL：03-3987-8621

●自分に何が起こるのか，本当は怖いけど知っておきたい。ほかの人たちはどんな体験をしているのか知りたい。著者は，そんながん患者や家族の思いに応えるために本書を書いた。そこには，挫折し苦悩しながら，それでも数多くの患者・家族に寄り添い続けてきた緩和ケア専門医の真実と希望がある。困難を抱えて生きるがん患者と家族の道しるべとなる本。

